

第1回 北九州港カーボンニュートラルポート（CNP）検討会 議事概要

日時：令和3年6月28日（月）10:00～12:00

場所：旧大連航路上屋 2Fホール

開催形式：対面及びWebの併用

【議事概要】

（議事2-1：北九州港CNP検討会の進め方について）

事務局より、検討会の開催要綱(案)を説明し、承認いただいた。また検討会の進め方について、今年中に計3回開催し、北九州港におけるCNP形成に向けた取組の方向性等をとりまとめることを説明し、了承いただいた。

（議事2-2：国における脱炭素化の取組について）

九州地方整備局より、脱炭素化に向けた政府の動きや、港湾における脱炭素化の取組の重要性、港湾地域から排出される温室効果ガスの削減対策例等を説明。

（議事2-3：北九州市における脱炭素化の取組について）

北九州市より、北九州市が目指す2050年の脱炭素社会の概要と、「(仮称)北九州市グリーン成長戦略」骨子を説明。

（議事2-4：民間における脱炭素化の取組について）

構成員の民間企業より、脱炭素化に関する取組の事例を紹介。洋上風力発電の導入に関する取組、再生可能エネルギーの余剰電力や製造過程の副産物を活用して水素・アンモニア等（以下、水素等）を製造する取組、発電等における水素等の混焼に関する取組、船舶や荷役機械等における水素等の利活用に関する取組、水素等のサプライチェーン構築に関する取組についてご紹介いただいた。

（議事2-5：CNP形成に向けた検討の方向性について）

事務局より、第2回検討会までに、事務局から構成員等に対してアンケート調査を実施し、北九州港における現在のCO2排出量や、2030年、2050年のCO2排出量及び水素等の次世代エネルギーの将来需要を推計することを説明。また、第1回検討会で構成員から説明があった脱炭素化に関する取組の事例と、次世代エネルギーの将来需要等の推計結果をあわせて、北九州港におけるCNP形成に向けた取組の方向性(案)を整理することを説明。加えて、次回以降の検討会で、次世代エネルギーの将来需要を踏まえた、港湾の施設の規模・配置等を検討していくことを説明。

以上